

家庭学習ガイド



3年生の学習

子どものやる気を支え、

学習習慣の定着を図りましょう。

はじめに

1・2年に引き続き「早寝早起き」「規則正しい食事」など、基本的な生活習慣が定着するように支援することが必要です。自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり「やる気」や「根気」が育つ時期で、語彙（言葉）の獲得能力が高くなり抽象的な思考ができるようになってきます。しかし、「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てくるので、自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。また、「おかあさん教えて」、「おとうさんと一緒に考えよう」など、親子でともに学ぶ経験は、子どもたちの励みになります。学習に対する意欲は、「できた!」「わかった!」という子どもの達成感と「すごいね」「よくできたね」というほめる言葉や認める言葉によって高まります。

望ましい学習習慣を身に付けるために

- ① 学習する時間帯を決める。
- ② 学習する場の整理整頓を徹底する。
- ③ 今日やるべき課題を確認する。
- ④ 学習時は、テレビなどを消す。



学習時間のめやす 30分以上

3年生で身につけたい力

- ① 3年生で習う200字程度の漢字を読んだり書いたりできる。
- ② まとまりに応じて適切に区切り、なめらかに分かりやすく音読できる。
- ③ 国語辞典を正しく使って言葉の意味や使い方を調べることができる。
- ④ ローマ字を読んだり書いたりすることができる。
- ⑤ 毛筆を使い、姿勢や筆の持ち方に気をつけて文字を書く。
- ⑥ わり算の意味を理解し、あまりのある割り算ができる。
- ⑦ 小数や分数の意味を理解し、簡単なたし算・ひき算ができる。
- ⑧ 長さや重さの単位の間隔を理解し、計器を使って正しく測定することができる。



学習の進め方

- ① 学校からの手紙を渡す。
- ② 机の周りを整頓する。
- ③ テレビやゲーム、音楽を消す。
- ④ 学校の宿題をする。
- ⑤ 自主学習をする。
- ⑦ 机の上を片付ける。
- ⑧ 次の日の準備をする。



自主学習の例



- ・ 漢字ドリルや計算ドリルの復習…間違ったところを重点的にする。
- ・ 音読…句読点（「。」「、」）に気を付けて、気持ちや様子が伝わるように、すらすら読む。
- ・ 市販の問題集を活用する。
- ・ 読書…学年に合った図書を選んで読む。子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置く。時には、読み聞かせをすることも効果的。
- ・ 文字漢字の書き取り…書き順や字形、「とめ、はね、はらい」に気を付けて書く。
- ・ 日記…習った漢字を使い、したことだけでなく、見つけたこと、思ったことも書く。
- ・ 教科書を視写する。生き物さがしをして、観察日記をかく。
- ・ ローマ字を書いて覚える。
- ・ 辞書を使って、わからない言葉の意味を調べる。
- ・ クロッキー（スケッチ）
- ・ 書写 学習した文字や関連する文字を毛筆で書く。
- ・ 算数 学習している単元で問題作りをする。
百ます計算に取り組む
その日に学習した内容を復習する。
- ・ 生き物や植物の観察をして日記をかく。